

やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより
令和5年4月吉日 第184号
編集・発行 長澤 辰夫

春をイメージさせる美しい言葉 1 「春茜」

本年度は、四季をイメージさせる美しい言葉で「やまもも」の冒頭を飾っていきたいと思っています。第1回目は、「春茜（はるあかね）」をあげました。恥ずかしながら自分も知らなかった言葉です。

どのような光景かを調べてみると、「春のぼんやりとした空に少しだけ茜の色が入り、柔らかな夕焼け空を表現する言葉」「春独特の柔らかな感じのする美しい夕焼け」……？ なんと悩んでしまいます。これから空を見上げながら、「これかな」「これかな」と「春茜」のイメージを考えてみたいと思っています。

コロナ以前の形で行えたことに感動！

原則マスクをなし、参加者の制限もなくした形で実に3年ぶり入学式・始業式を行うことができました。

本年度は、93名の新1年生を迎え、全校生徒282名でスタートしました。名前を呼ばれた1年生が一生懸命返事をしようとしていた姿、式の中の新2年生、新3年生の堂々とした姿、改めて、「よい学校だ」と感じ入ってしまいました。素晴らしい子どもたちと新学期をスタートさせます。わくわくしています。



新入生歓迎会

4月27日、生徒会主催で、新入生歓迎会が行われました。会では生徒会役員や実行委員の生徒による寸劇、部活動紹介などがされ、1年生の生徒が熱心に先輩たちの説明を聞いていました。新1年生を迎える先輩たちの温かい思いが伝わり、笑顔のたえない、よい会となりました。



キャリア学習会

3年生は、すでに進路に目を向けて活動しています。授業に対する意気込みも昨年とはひと味違い、熱心さが増していると聞いています。4月26日には、近隣の高校の先生方を講師にお招きして、キャリア学習会が行われました。主に普通科、専門学科の説明がされ、熱心にメモを取る姿が好印象です。

